

タンングステン削減合金拡販

富士ダイスとダイジエツト

富士ダイスとダイジエツト工業は、レアメタル（希少金属）の使用量を削減した合金の販売で業務提携する方向で検討を始めた。両社の販売ネットワークを活用し、販路拡大の可能性を検討するも、中国がレアメタルの輸出を規制する中、地政学リスクによる影響を受けにくい合金の拡販を進め、収益の拡大を図る。

現在、両社はそれぞれの合金の特性評価と品質保証体制の構築を進めている。早ければ6月中にも業務提携の可否を判断する。

富士ダイスはタンングステンとコバルトを従来比で約90%削減した合金を、ダイジエツト工業はタンングステンとコバルトを使用しない合金をそれぞれ開発している。いずれもこれまでの超硬合金と比べて、硬度と耐摩耗性に関して同程度だという。

一方、富士ダイスは回転工具や混練工具、ダイジエツト工業は粉末成形型や耐熱用治具向けに、それぞれ供給している。事業領域が重複していないことから、シナジーが創出できると判断し、業務提携の検討を始めることになった。